

**碧南・高浜 網の目平和行進**

**世界と日本の核兵器なくせの声に呼応し猛暑に歩く**

～「平和への誓い」～

私たちは、広島が大好きです。  
ゆったりと流れる川、美しい自然、  
「おかえり。」と声をかけてくれる地域の人、  
どんなときでも前を向いて生きる人々。  
広島には、私たちの大切なものがあふれています。  
昭和20年(1945年)8月6日。  
あの日から、血で染まった川、がれきの山、皮膚がはがれた人、たぐ  
さんの亡骸、  
見たくなくても目に飛び込んでくる、地獄のような光景が広がった  
のです。  
大好きな町の「悲惨な過去」です。  
被爆者は語ります。「戦争は忘れることのできない特別なもの」だ  
と。  
私たちは、大切なものを奪われた被爆者の魂の叫びを受け止め、  
次の世代や世界中の人たちに伝え続けたい。  
「悲惨な過去」を「悲惨な過去」のままに終わらせないために、  
二度と戦争をおこさない未来にするために、  
国や文化や歴史、  
違いはたくさんあるけれど、大切なもの、大切な人を思う気持ちは  
同じです。  
みんなの「大切」を守りたい。  
「ありがとう。」や「ごめんね。」の言葉で認め合い許し合うこと、  
寄り添い、助け合うこと、  
相手を知り、違いを理解しようと努力すること。  
自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。  
大好きな広島に学ぶ私たちは、  
互いに思いを伝え合い、相手の立場に立って考えます。  
意志をもって学び続けます。  
被爆者の思いに、私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界に  
つなげます。

令和元年(2019年)8月6日

こども代表  
広島市立落合小学校 6年 金田 秋佳  
広島市立矢野小学校 6年 石橋 忠大



碧南市役所の  
出発式では、  
生田 和重経  
営企画課長か  
ら激励のあい  
さつをいただ  
きました。高  
浜市では冷茶  
の接待と加藤  
議会議務局長  
から、高浜市  
の平和行政の

核兵器廃絶を訴えながら被爆地広島、長  
崎をめざして歩く「2019年原水爆禁止  
国民平和行進」は8月6日の長崎市松山  
公園の終結まで、全国11の幹線コースと全  
自治体を網羅する網の目平和行進が繰り広  
げられます。8月4日には、碧南・高浜の  
網の目平和行進が行われました。碧南市役  
所から、三河高浜駅のいきいき広場まで、  
猛暑の中、行  
進しました。

紹介がされました。  
**原水爆禁止2019世界大会  
ヒロシマデー集会始まる**  
6日広島では、原水爆禁止2019年世界  
大会・広島「ヒロシマデー集会」が市内で開  
かれました。被爆75年の2020年を「核兵  
器のない平和で公正な世界」への歴史的転機  
にしよう、と、「広島からのよびかけ」を採択。  
同日おこなわれた広島市主催の平和記念式  
典でも、「核兵器禁止条約の発効を求める市民  
社会の思いに込めていただきたい」(松井一実  
市長)と強調されました。同式典には、日本  
共産党の志位和夫委員長をはじめ党代表団が  
出席しました。  
**平和式典で安倍総理、  
禁止条約に触れず**  
広島市の平和記念式典は、平和記念公園で行  
われ、被爆者や遺族、市民、内外の政府・各  
党関係者ら5万人が参列しました。  
安倍晋三首相があいさつし、「核兵器国と非

核兵器国  
の橋渡し  
に努め、  
双方の努  
力を得な  
がら対話  
を粘り強  
く促し、  
国際社会  
の取り組  
みを主導  
していく  
決意です

と従来の  
立場を繰  
り返し、  
核兵器禁  
止条約に

はいっさい言及しませんでした。  
8時15分、原爆投下時刻に黙とう。市内の  
小学生2人が「平和への誓い」(囲み)を読み  
上げると拍手が起きました。  
この1年間で亡くなった被爆者5068人  
の名簿が奉納され、犠牲者は31万9186  
人となりました。

**第51回保育会研習会へ7074人**

「子の命守り 思い大切に」  
名古屋市内で3日から行われていた第51回  
全国保育団体合同研究会は5日、「子どもた  
ちの命と発達を守り、夢と希望を与える保育  
の創造をめざす」とする集会宣言を採択して  
閉会しました。3日間で7074人が参加し  
ました。

**伊勢湾台風から始まった愛知の保育**

閉会集会では開催地の愛知県実行委員会が  
「子どもたちにとつてあたりまえに育つてなに?  
平和ってなに?」の構成劇を披露。1959  
年の伊勢湾台風で、東京から派遣された2人  
の保育士と被災地の子どもから始まった愛知  
の保育。その経過と合研の始まりを映像で振  
り返りました。

保育士の賃金の公私間格差是正制度を、運  
動で存続させてきた名古屋。県内1万人の  
実態調査を力に、残業代の未払いをなくすよ  
う市や県に働きかけて、処遇改善が動き出し  
ています。「子どもも、  
パパもママも、保育者  
も笑顔でいたい」との  
壇上からの呼びかけに、  
参加者はタオルを振り、  
拍手で応えました。

ジャーナリストの堤  
未果さんが「企業が稼  
げる、コストカット優  
先のアメリカ保育の真  
態」を講演しました。

